

**定理 1.23**  $I_A$  は  $A$  上の恒等関係であり,  $R$  が  $A$  上の関係であれば,

- (1)  $R$  は対称的である  $R = R^c$  が成り立つ。
- (2)  $R$  は反対称的である  $R \cap R^c \subseteq I_A$  が成り立つ。

【証明】

(1) “ $\Rightarrow$ ”:  $R$  が対称的であるので,  $\langle x, y \rangle \in R$  ならば,  $\langle y, x \rangle \in R$  である。

すなわち  $\langle x, y \rangle \in R \Leftrightarrow \langle x, y \rangle \in R^c$ 。ゆえに  $R = R^c$  が成り立つ。

“ $\Leftarrow$ ”:  $R = R^c$  とすると  $\langle x, y \rangle \in R \Leftrightarrow \langle x, y \rangle \in R^c$ 。すなわち  $\langle x, y \rangle \in R$  ならば,  $\langle y, x \rangle \in R$  である。ゆえに,  $R$  は対称的である。

(2) “ $\Rightarrow$ ”: 任意の  $\langle x, y \rangle \in R \cap R^c$  に対して,  $\langle x, y \rangle \in R$  かつ  $\langle x, y \rangle \in R^c$ 。すなわち,  $\langle x, y \rangle \in R$  かつ  $\langle y, x \rangle \in R$ 。反対称性により,  $x = y$  となる。よって,  $\langle x, y \rangle \in I_A$  である。ゆえに,  $R \cap R^c \subseteq I_A$  である。

“ $\Leftarrow$ ”: 任意の  $x$  と  $y$  に対して,  $\langle x, y \rangle \in R \cap R^c$  とすると,  $\langle x, y \rangle \in R$  かつ  $\langle y, x \rangle \in R$  である。ここで  $R \cap R^c \subseteq I_A$  より,  $\langle x, y \rangle \in I_A$ , すなわち,  $x = y$  である。ゆえに,  $R$  は反対称的である。